

# 事業の概況

事業の概況

## ●収益の状況

経常利益は、前年同期比2億5百万円増加し、7億49百万円となりました。

基本的な収益力を示すコア業務純益は、貸出金利息、有価証券利息配当金の増加等により、前年同期比2億30百万円増加し、7億62百万円となりました。

### ○損益状況と総与信費用の推移

(単位：百万円)

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
経常利益	580	544	749
中間純利益	513	344	535
コア業務純益	482	531	762
総与信費用	△21	27	192

※コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益  
 ※総与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額

## ●預金・預り資産・貸出金の状況

預金につきましては、主に公金預金の減少により前年同期比73億45百万円減少し、2,483億91百万円となりました。

貸出金につきましては、コロナ禍における資金繰り支援等を積極的に行った結果、前年同期比22億47百万円増加し、1,976億22百万円となりました。

### ○預金、個人預金及び預り資産残高の推移

(単位：億円)

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
預金	2,368	2,557	2,483
個人預金	1,662	1,724	1,719
預り資産	269	246	231

(注) 預り資産に含まれる投資信託の残高は2021年9月末より時価額での表示に変更しております。

### ○貸出金及び佐賀県内向け貸出金の推移

(単位：億円)

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
貸出金	1,820	1,953	1,976
佐賀県内向け貸出金	1,328	1,407	1,407

## ●自己資本比率の状況（国内基準）

2021年9月期における自己資本比率は8.74%となりました。

自己資本比率は、国内基準で必要とされている4%を大幅に上回る水準を長年に亘り維持しており、経営の健全性は高く、安心してお取引いただける水準にあります。

当行は、今後とも財務基盤の強化に努めてまいります。

※自己資本比率とは総資産に対する自己資本（資本金や引当金等）の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は4%以上（国内基準）を維持することが義務づけられています。

### ○自己資本比率の推移

(単位：%)

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率 (国内基準)	8.49	8.47	8.74

## ●不良債権の状況

当行は、「地域に根ざした面倒見の良い銀行」を目指しており、地域経済への貢献に重点を置いて、取引先企業の経営改善及び再生支援に注力することにより、不良債権の圧縮に努めております。

2021年9月末の不良債権（金融再生法開示債権）残高は、64億73百万円であり、総与信に対する割合は3.26%です。不良債権（金融再生法開示債権）残高のうち77.17%は貸倒引当金や担保等でカバーされております。

### ○金融再生法に基づく開示基準による資産内容

(単位：百万円)

	2021年9月期				
	債権残高 A	担保等による 保全額B	貸倒引当金 C	保全額 D=B+C	保全率 (%) D/A
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	633	389	243	633	100.00
危険債権	4,474	2,538	1,126	3,665	81.90
要管理債権	1,365	453	243	697	51.07
合計	6,473	3,382	1,614	4,996	77.17

地域密着型金融の取り組み状況

資本金

株式・従業員

中間財務諸表

損益の状況

営業の状況

各種経営指標

パーゼルⅢ(第3の柱)に基づく開示事項

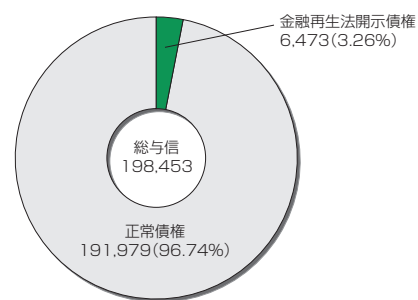
## ○不良債権（金融再生法開示債権）の推移 (単位：百万円)

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
金融再生法開示債権残高	4,561	4,981	6,473
金融再生法開示債権比率	2.49%	2.53%	3.26%

### 金融再生法に基づく開示基準の概要

- 総与信…………… 貸出金、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、貸付有価証券
- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権…経営が破綻した取引先への債権
- 危険債権…………… 経営状態が悪化し、経営は破綻していないまでも約定どおりに返済できない可能性が高い取引先への債権
- 要管理債権…………… 元金または利息の支払が3ヵ月以上遅れている貸出金と、貸出条件を緩和している債権（上記2債権を除く）

## ○総与信に占める金融再生法開示債権の残高と比率 (単位：百万円)



※記載金額、比率は、単位未満を切り捨てて表示しております。

## ●当行の最近3中間期及び最近2事業年度に係る主要な経営指標等の推移 (単位：百万円)

項 目	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2020年3月期	2021年3月期
経 常 収 益	2,970	2,788	3,132	5,896	5,881
経 常 利 益	580	544	749	98	596
中間（当期）純利益	513	344	535	485	301
資 本 金 (発行済株式総数)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)
純 資 産 額	15,043	14,387	15,306	13,675	15,341
総 資 産 額	270,263	286,439	278,976	258,056	278,337
預 金 残 高	236,806	255,736	248,391	229,313	246,340
貸 出 金 残 高	182,061	195,375	197,622	183,625	196,126
有 価 証 券 残 高	60,846	60,808	60,204	59,492	60,212
1株当たり中間純利益	23.49円	15.76円	24.49円	—	—
1株当たり当期純利益	—	—	—	22.22円	13.80円
潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	—	—	—	—	—
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—	—	—	—
1株当たり配当額	3.00円	3.00円	3.00円	7.00円	6.00円
従 業 員 数 [外、平均臨時従業員数]	289人 [79人]	297人 [83人]	294人 [82人]	278人 [80人]	284人 [82人]
自 己 資 本 比 率	5.56%	5.02%	5.48%	5.29%	5.51%
単体自己資本比率（国内基準）	8.49%	8.47%	8.74%	8.42%	8.44%
営業活動による キャッシュ・フロー	6,737	16,529	13	△4,875	6,668
投資活動による キャッシュ・フロー	2,187	△671	△574	1,512	1,205
財務活動による キャッシュ・フロー	△66	△88	△66	△131	△155
現金及び現金同等物の 中間期末（期末）残高	25,894	29,309	20,632	13,540	21,259

- (注) 1. 自己資本比率は、(中間)期末純資産の部の合計を(中間)期末資産の部の合計で除して算出しております。  
 2. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国内基準を採用しております。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益については、潜在株式がないため記載していません。  
 4. 従業員数は、就業人員数を表示しております。

## ●2021年度に行った施策

### ・「佐賀豪雨復興支援プロジェクト きょうぎんマルシェ」を開催

2021年8月豪雨における被災地域の事業者の方への支援として、当行本店ロビーを開放し、マルシェを開催しました。当日は、特に被害が大きかった武雄市等の佐賀県杵藤地区の事業者20社が出店され、大変多くのお客さままで賑わいました。

また、今後当行本店において毎月第3水曜日に様々なテーマのマルシェを開催することとしております。多くのお客さまのご来店をお待ちしております。

### ・シンジケートローンの組成

商工中金と共同で株式会社田中鉄工所さまへのシンジケートローン<sup>(注)</sup>の組成を行いました。今回のシンジケートローンによって、同社の長短借入金バランスを是正し、キャッシュフローの改善や将来の戦略的な設備投資を見据えています。当行は多様化するお客さまの資金調達ニーズにお応えし、企業の成長を後押しして参ります。

(注) シンジケートローンとは、お客さまの資金ニーズに対し複数の金融機関が協調して、一つの融資契約書をもって

同一条件で融資を行う方法のことです。

### ・日本政策金融公庫との協調融資商品を活用した融資

日本政策金融公庫との協調融資商品「きょうぎん×公庫 創業・新事業応援資金」を活用して、oriori（オリオリ）さまへの融資を行いました。同社は、I・Jターンで佐賀県に移住されたご夫婦が営まれるアップサイクル（既に流通したものに新たな付加価値をつけて販売するリサイクルの新しい業態）の店舗です。佐賀市・古湯温泉街に開業され、カフェや一点ものの古道具・雑貨を販売されています。

当行では、佐賀県内で創業・新事業に取り組まれるお客さまの事業計画策定、融資などの支援を行って参ります。

### ・Instagram（インスタグラム）による情報発信の開始

お客さまへの販路拡大支援として、Instagram（インスタグラム）公式アカウント「よかとこさが」を開設し、お客さまのおすすめ商品や新規出店等のPR情報の発信を開始しました。同サイトでは、きょうぎんマルシェの開催スケジュールの発信等も行っております。

### ・宅急便取次業務の開始

ヤマト運輸株式会社と取扱店業務委託契約を締結し、「宅急便」の取次業務を開始しました。銀行窓口での宅急便取次業務は、全国的にも珍しい取組みです。当行では事業者さまの売上拡大支援・店舗有効活用の取組みとして、ロビーや駐車場を商品販売の場所（イベントスペース）として貸出をしており、お客さまが購入された商品を当行窓口から直接発送することが可能となりました。

## ●トピックス

### ・ATMの新設（スーパーモリナガ空港通り店・スーパーモリナガ高木瀬店）

2021年11月、佐賀市にあるスーパーモリナガ空港通り店とスーパーモリナガ高木瀬店にATMを新設いたしました。今後もサービス向上に努めて参りますので、ご愛顧賜りますようお願いいたします。

### ・後見制度支援預金の取扱い開始

当行では「後見制度支援預金」の取扱いを開始しました。後見制度支援預金は、後見制度を利用されている後見人の方が、被後見人の財産のうち日常生活に必要な金銭とは別に普段使用しない金銭を特別な預金として、金融機関に預ける制度です。当該預金では家庭裁判所の発行した指示書に限定して取り扱うため、お客さまの財産を安全かつ適切に管理することが可能です。

### ・一部店舗の窓口営業時間変更

2021年11月より、一部店舗（福岡支店、飯倉支店、佐世保支店）の窓口営業時間を下記のとおり変更しました。窓口休業時間中もATMは普段通りご利用いただけます。

変更前	現在
平日 9:00～15:00	平日 9:00～11:30 12:30～15:00 【窓口休業時間 11:30～12:30】